

平成 30 年 1 月開成町教育委員会定例会 会議録

日 時： 平成 30 年 1 月 24 日(水) 15 時 30 分～17 時 10 分

場 所： 開成町民センター 中会議室 B

出席者： 鳥海教育長、村岡教育長職務代理者、露木委員、武井委員、上野委員

【事務局】加藤事務局参事、橋本教育総務課長、中戸川子ども・子育て支援室長

議 事：

1) 開会 教育長より開会の宣言

2) 会議録署名人の指名 武井委員が指名された。

3) 《協議事項》

(1) 放課後を中心とした子どもの居場所づくりのあり方について

○事務局 開成町社会教育委員会議からの答申を事前に配布をさせていただきました。

今後、引き続き協議いただくこととなりますが、この時点でお気づきの点等があればご意見を伺いたいと思っております。

○教育長 平成 28 年 5 月に教育委員会から開成町社会教育委員会議長宛に諮問していたものです。先進地を視察や保護者へのアンケートをとるなどしてまとめていただき、答申としたものを昨年 12 月 20 日に議長より受取りました。

皆様にご覧いただいた中で、ご意見などいかがでしょうか。

○委員 社会教育委員の皆さんが横浜まで行っていただくなどしていただき大変ありがたいです。よくまとめられていると思います。

○委員 なぜ一体化しなくてはいけないのかが、聞かれている方がよくわかっていないようで、これが絶対に必要であるということが、うまく伝わってこない点に疑問が残ります。

委員の間でも曖昧であったのではないのでしょうか、調べたり話し合いをしていただいた中では残念であります。

○委員 アンケートも細かくとられています。一体化が必要なのか自分自身でもごっちゃになっています。保護者もよく理解できていない部分があるのではないのでしょうか。情報を集めるのも必要ですし、決めた後に混乱してしまうのではないかと思います。

○委員 自分の子どもも学童を利用していますし、放課後子ども教室も承知していますが、学童に預けているのは保育園からの継続が多くて有料で、見てもらっているというところが大きく、一体となるとなぜが出てくると思います。

単純に一体化されるだけでは、わかりにくいですし無駄というか矛盾が出てくる場所があると感じていますし、本当にやらなくてははい

けないのか、実施主体の連携も難しいのではないかと感じています。

○委員 提言では一体化すべきとはないですし、難しいです。小学校に上がるのに幼稚園と保育園のルートがあり、これが小さな町の特徴でもあります。幼稚園が認定子ども園へという形であれば一体化ということでもいいですが、明らかにルートが分かれているので、よく考えないといけないですし、議論していく余地があると思います。

○教育長 諮問した理由としては、教育振興基本計画の中で、平成31年度から一体化の方向で検討していくとありますので、平成31年度から実施の方向で考えていましたが、実際に町民や保護者はどう考えているのかを把握することが教育委員会として、事業を一体化する上で必要であると考え、多くの方々の意見を集約する意味で諮問したものです。いろんな面で難しいなど、町民から指摘されたということであれば、今後は教育委員会の中で、教育振興基本計画ではこう決めていたが、当面は先送りするとか、運営の仕方を変えてみるなどの結論を出すための裏付けとして、意見がほしかったということもあります。

平成30年度に方向性を定めて、平成31年度から実施していきたいと考えております。

再度、事務局から国は一体化していくことが望ましいといことで通知がきておりますので、それに基づいて事務局から説明します。

○事務局 事務局より、平成26年7月31日付け教育委員会宛の文部科学省及び厚生労働省からの「放課後子ども総合プラン」についてという通知の内容について説明した。

来年度、教育振興基本計画の見直しもありますが、一体化、連携ということもありますので、社会教育委員会の答申を踏まえながら、イメージしたものをお示していきたいと考えております。

○教育長 一体化が望ましいという観点をもって社会教育委員会議に諮問したわけですが、連携も視野に入れながら進めていきたいと思いません。

国の方針は余裕教室がある前提となっており、開成町とは少し異なり難しいところですが、平成31年度の計画には盛り込む必要があります。社会教育委員さんが実態を調査しながらまとめていただいたものですので、これを踏まえながら今後、進めていきたいと思しますので、引き続きお願いいたします。

○委員全員 承知しました。

(2) 「平成 30 年度開成町教育委員会における取組み方針」(案)及び
「平成 30 年度開成町各学校・園における教育課題の取組み要請」(案)
について

資料 1 について説明【事務局】

- 教育長 事務局より説明がありましたが、まず各学校・園における教育課題の取組み要請についていかがでしょうか。
- 委員 全体として、開成町をより好きになってもらうようなニュアンスで入れることは難しいでしょうか。
- 教育長 基本的事項の 1 つ目にある各計画の中には書かれています。個々の内容を踏まえながらということになります。構成図を加えてわかりやすく示しています。
- 委員 計画にはあるということですが、ことあるごとに校長先生等が言っていて、広めていただきたいと思います。
- 教育長 子どもにかわりやすいような記載も必要です。幼稚園や小学校ではわかりやすく「すてきさん」という表現をしています。
- 委員 理解しますが、一步踏み込んでどうかと思いました。
- 教育長 全体としては、来年度に向けて内容を修正していきたいというものです。特に開成小学校のところでは、開成小学校へ学童を入れることとなりますので、施設管理面など難しいことがたくさんあります。
- 委員 基本的事項の 2 つ目の内容が 3 つある中では、「生命の尊重」が前にあるほうがいいのではと感じました。学校では「防災教育」や「災害の対応」が大切なのはわかりますが、どうでしょうか。
- 教育長 3 つ目に「生きる力」があるので、そこに網羅し、「生命の尊重」を削除することも考えられます。
- 委員 そうすると少し意味合いが異なるような気がします。
- 教育長 何事も生きるために行うとすると、「生命の尊重」は安全・安心から分けたほうがいいのかもかもしれません。
- 委員 別の件になりますが、幼稚園の「少人数学級の実施と研究」のところで、3 歳児が始まると教室がいっぱいになると思います。少人数学級となると教室が増えることになりますが、実施はできるのでしょうか。
- 教育長 現在は 1 クラス 35 名定員ですが、実際には子どもの人数に合わせて 1 クラス 30 人などで実施しています。
- 委員 それ以上に分けて実施するという意味ではないのでしょうか。
- 教育長 1 クラス 35 人が基本ですので、それを現状に合わせて実施しています。定数は 1 クラス 35 名の 10 クラスで 350 名としていますので、その中で少人数として対応しています。
- 委員 4 年くらい前に年少では 3 クラスだったのが、年長で 4 クラスになって混乱したこともありました。
結果の報告はあるのでしょうか。毎回検討して組むのでしょうか。

- 教育長 応募者数によって、学級編成を行っています。
- 委員 その年によって、変わるということでしょうか。
- 教育長 研究をして望ましいということで、実施しています。
- 委員 内容としては35人の定員に対して、人数が少なければ少人数ということですね。これだけみると、15人や20人というように捉えてしまう面があります。
- 事務局 委員の言われているのは、取組み要請として「少人数学級の実施」があるのは、どうかということでしょうか。
- 委員 単に少人数学級にした場合、教室が足りるのかと思いました。35人というのは存じませんでした。
- 教育長 教室が10しかありませんので、その中で実施するものです。
- 委員 3歳児が始まった場合のイメージはどのような感じでしょうか。
- 教育長 3歳児が4クラス、4歳児が3クラス、5歳児が3クラスです。教諭の採用にも絡んでくる部分です。
- 他にいかがでしょうか。
- 委員 文命中学校のところにある武道（柔道）への取組みは、以前から記載のとおりでしょうか。
- 教育長 毎年、子どもたちが変わりますので、柔道では絶対に事故を起こさないという指示です。設備が簡易的なものですので、毎年注意して行うように指示しています。
- 委員 今年から女子生徒も行うようになったのでしょうか。
- 教育長 それは、時々校長先生の教育課程の組み方によって、選択を何にするかによって変わってきます。
- 教育委員会は教育内容に触れない形で指示しています。
- 委員 数回の授業のために柔道着を買うのというような声があるようです。
- 教育長 教育課程を行っていくうえで、保護者に負担いただくことは、ある意味やむを得ないことだと思います。
- 公費である程度揃えてということもありますが、衛生面などの問題もあるので、できるだけ負担にならないように考えながら進めてもらっています。他はよろしいですか。
- 事務局 先ほどの「安全・安心な学校づくり」はどうでしょうか。
- 委員 「生きる力」と一緒にするのは違うと思います。
- 教育長 3つのうち「生命の尊重」は省いてはどうでしょうか。
- 事務局 防災のあとに、「防犯」を入れてはどうでしょうか。
- 教育長 教育長会の中でも「防犯」について協議しています。
- 事務局 では、「生命の尊重」を削除して、「安全・安心な学校づくり（防災・防犯、災害教育の対応）」という形に変更いたします。
- 教育長 では次に「平成30年度開成町教育委員会における取組み方針」について説明をお願いします。

- 事務局 資料に基づき、前年と変更する部分を主に説明。
- 委員 具体的な取組みの「コミュニティ・スクール」の部分が前年と変わっているようにみえますが、どうでしょうか。
- 事務局 ご指摘の部分については、誤っておりますので、前年と同じ文言に修正させていただきます。
- 委員 次に2の『子どもたちの「生きる力」の育成』の3つ目の「幼・小・中・高校連携強化」と次の吉田島高等学校とダブってありますが、意味があるのでしょうか。
- 教育長 「幼・小・中・高校連携強化」は、まさに言葉のとおりで、「吉田島高等学校・町内の保育園」は、高校と保育園間の連携を示しています。
- 委員 ということは、吉田島高校と保育園の連携ということでしょうか。
- 教育長 そのとおりです。
- 事務局 では「・」を「と」に修正することによろしいでしょうか。
- 教育長 方針としているのは、教育委員会に子ども・子育て支援室がありますので、保育園についても教育の一環として捉えていきたいというものです。
- 委員 働き方改革が問われる中、開成町でも先生方の残業が増えているような中で、このあたりをどのように盛り込めばいいのか、調査などを行っているのは承知していますが、教育委員会としてはどう考えていけばいいのかと思っています。
- 委員 「事務の共同実施」を継続して推進し、教員が子どもたちと向き合う時間を確保に、絡む部分ではあると思います。
- 教育長 どちらかという、教員が子どもたちと向き合う時間の確保に重点を置いています。
- 委員の言われるとおり、項だてを別にして示せばいいのですが、その部分はすでに実施しているということで進めています。
- 委員 基本計画の中では、しっかりと記載されています。
- 委員 先生方の勤務実態は、県西地区等でみた場合にはどのような感じでしょうか。
- 教育長 今回はじめて県で抽出により調査しています。一週間という期間です。時期にも左右されると思います。
- 文部科学省でも取組みはじめています。色々と課題があると感じていますが、徐々に変わってくるのではないのでしょうか。
- よろしいでしょうか。全体について事務局で整理してください。
- 委員全員 お願いします。
- 事務局 皆様からいただいた意見により修正してまとめさせていただきます。

(3) その他 特になし

《報告事項》

- (1) 広域病児保育事業の開始について
 - ・資料2により説明【事務局】
- (2) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の会場追加について
 - ・資料3により説明【事務局】
- (3) 経過報告、今後の予定
 - ・資料4, 5, 6により説明【事務局】
- (4) 開成町立学校の様子について
 - ・教育長より報告
- (5) その他
 - ・特になし

閉 会 ： 教育長より閉会の宣言